

厚生労働省岐阜労働局
高山労働基準監督署 発表
平成23年6月22日

担 高山労働基準監督署
当 安全衛生課長 勝股光悦
電話 0577-32-1180

「平成23年度 飛騨地区労働安全衛生大会」の開催について

～ 飛騨地域における事業場の安全衛生水準の更なる向上をめざして ～

社団法人飛騨労働基準協会連合会（会長 岡田 賛三）の主催による「平成23年度 飛騨地区労働安全衛生大会」（後援 高山労働基準監督署等）が下記のとおり開催されます。

高山労働基準監督署管内（高山市、飛騨市、下呂市、白川村）の休業4日以上労働災害の発生状況につきましては、別添のとおりです。

このような状況の中、飛騨地区の事業場における労働安全衛生水準の向上を図るため、全国安全週間（7/1～7/7）の準備期間（6/1～6/30）中に飛騨地区の事業場の事業主・労務安全衛生担当者等が一堂に会し、標記大会を開催しています。

本大会において、管内事業場が労働災害防止の取組みの重要性を再認識し、リスクアセスメント等安全対策に取り組むことで、労働者が健康で安全に、安心して働ける職場をめざしたいと考えています。

記

- 1 名 称 平成23年度 飛騨地区労働安全衛生大会
- 2 日 時 平成23年6月29日（水）午後1時30分より
- 3 場 所 飛騨・世界生活文化センター「飛騨芸術堂」
高山市千島町900-1 電話（0577）37-6111
- 4 主な内容等 (1) 事業場における安全衛生の取組に関する事例発表
大山土木(株)、田辺製薬吉城工場(株)の担当者
(2) 特別講演「笑いと安全」～笑いで伸ばす やる気と人材活性化～
(株)オフィス・なかがわ 代表 中川政雄 氏
- 5 参 加 者 高山労働基準監督署管内（飛騨市、高山市、下呂市、白川村）の事業者又は
労務安全衛生担当者ら約400人

労働災害の現況

平成22年の労働災害の発生状況(概要)

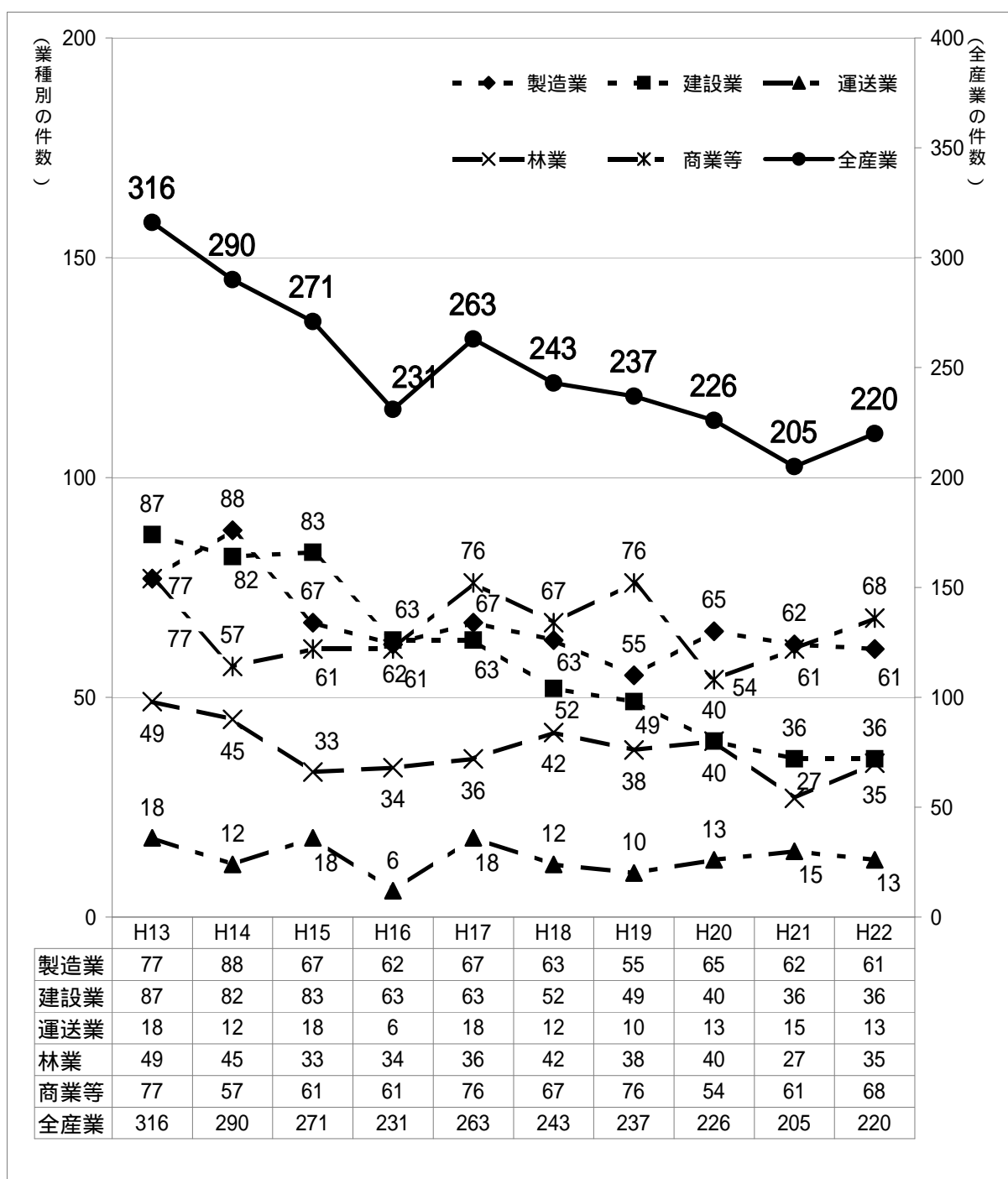
高山労働基準監督署管内の平成22年における労働災害の発生状況は、死亡災害が4件発生しており、前年に比べ1件減少しました。

休業4日以上之死傷災害は、220件発生しており、前年に比べ15件(7.3%)増加し、遺憾な状況にあります。

主な業種の休業4日以上之死傷災害の件数は、製造業61件、建設業36件、運送業13件、林業35件、商業等68件となっており、前年に比べ、製造業1件(1.6%)減少、建設業同数、運送業2件(13.3%)減少、林業8件(29.6%)増加、商業等7件(11.5%)増加となっています。

死亡災害は、1件の減少となっておりますが、高い水準で推移しており、休業4日以上之死傷災害では、増加していることから労働災害防止のより一層の取組みが重要となっています。

1 休業4日以上之死傷災害の推移(平成13年～平成22年)



この統計は、労働者死傷病報告により高山労働基準監督署へ報告があった休業4日以上之労働災害を集計したものです。

2 主な業種別・年別労働災害発生状況（平成17年～平成22年）

業種別	年別		平成17年		平成18年		平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		構成比 (%)	対前年増減 数・ 増減率(%)	
	(2)	263	(3)	243	(2)	237	(5)	226	(5)	205	(4)	220	100.0%	15		7.3%	
全産業																	
製造業		67		63		55	(1)	65	(1)	62		61	27.7%	-1	-1.6%		
食料品		18		8		12		18		15		14	6.4%	-1	-6.7%		
繊維工業								2									
他の繊維製品																	
木材木製品		13		15		9		9		14		8	3.6%	-6	-42.9%		
家具・製造品		10		13		12		11		9		12	5.5%	3	33.3%		
パルプ・紙業		2		1		1		2		1				-1	-100.0%		
印刷・製本業										1				-1	-100.0%		
化学工業		2		7		4		7		5		8	3.6%	3	60.0%		
窯業土石製品		6		5		2		2	(1)	5		5	2.3%	0	0.0%		
鉄鋼業																	
非鉄製品		2		1				2									
金属製品		3		6		1		5		3		9	4.1%	6	200.0%		
一般機械器具				2		4		1		2		4	1.8%	2	100.0%		
電気機械器具		3		0		1											
輸送用機械等		2		2		7											
電気・ガス・水道業		1		0		0		1									
その他の製造業		5		3		2	(1)	5		7		1	0.5%	-6	-85.7%		
鉱業		1		4		4		7		1		2	0.9%	1	100.0%		
土石採取業等		0		3		2		5		1		1	0.5%	0	0.0%		
鉱安法適用分		1		1		2		2				1	0.5%	1			
建設業	(2)	63	(2)	52	(1)	49	(2)	40	(1)	36	(1)	36	16.4%	0	0.0%		
土木工事業	(2)	22	(2)	24		19	(2)	20		11		14	6.4%	3	27.3%		
建築工事業		29		25	(1)	24		16		17	(1)	14	6.4%	-3	-17.6%		
木造家屋建築業		12		7		9		9		10		3	1.4%	-7	-70.0%		
その他		12		3		6		4	(1)	8		8	3.6%	0	0.0%		
運送業		18		12		10	(1)	13		15		13	5.9%	-2	-13.3%		
陸上貨物運送事業		13		9		7	(1)	9		14		10	4.5%	-4	-28.6%		
農林・畜産・水産業		38	(1)	45		43		47	(2)	30	(2)	40	18.2%	10	33.3%		
林業		36	(1)	42		38		40	(2)	27	(2)	35	15.9%	8	29.6%		
商業等		76		67	(1)	76	(1)	54	(1)	61	(1)	68	30.9%	7	11.5%		
卸・小売業		21		22		19	(1)	11		12	(1)	22	10.0%	10	83.3%		
旅館業		25		12	(1)	27		13		20		23	10.5%	3	15.0%		
ゴルフ場				1		1		2									
清掃・と畜業		4		2		6		5		9		5	2.3%	-4	-44.4%		
その他事業		26		30		23		23	(1)	20		18	8.2%	-2	-10.0%		

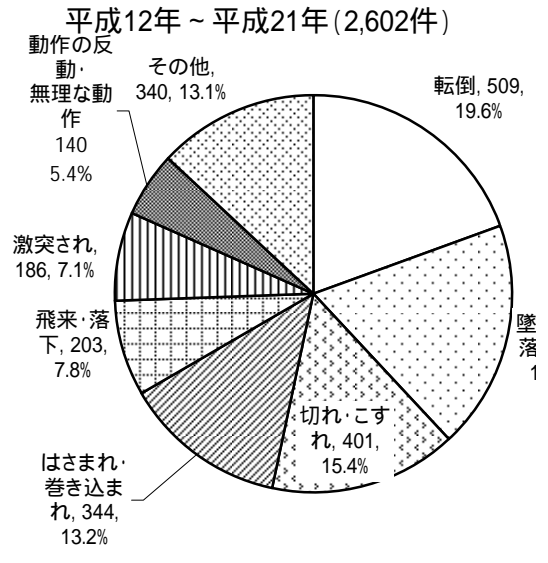
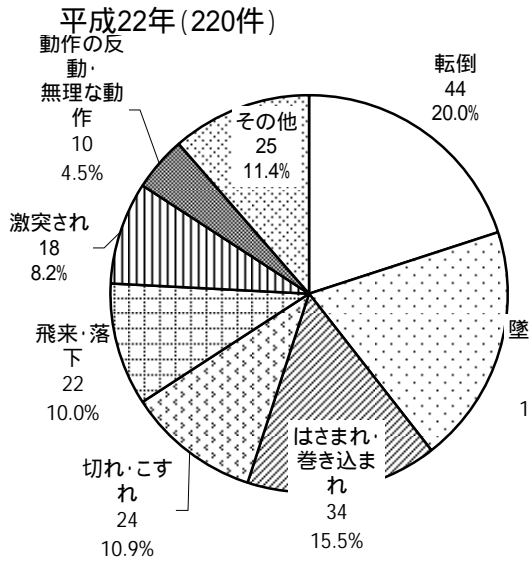
注) カッコ内は、死亡者数を内数で表しています。

平成20年から荘川・白川地区で発生した災害件数も高山監督署管内分として計上しています。

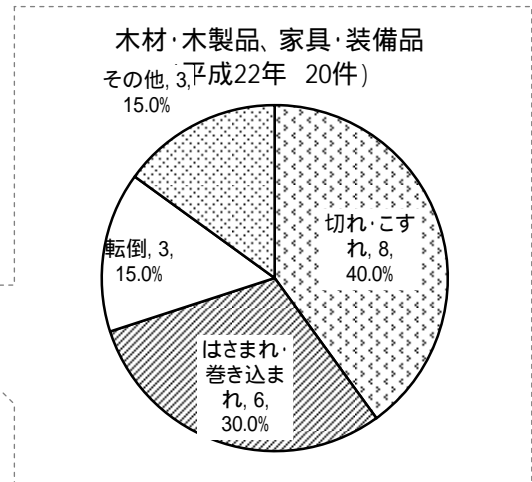
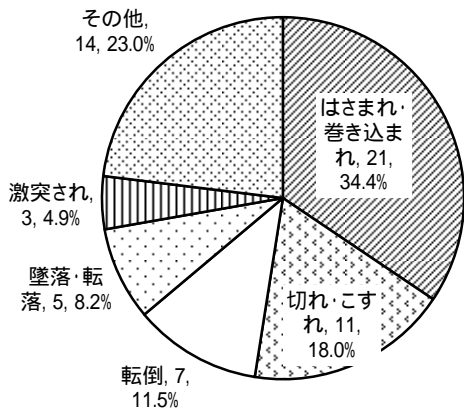
この統計は、労働者死傷病報告により高山労働基準監督署へ報告があった休業4日以上の労働災害を集計したものです。

3 事故の型別労働災害発生状況

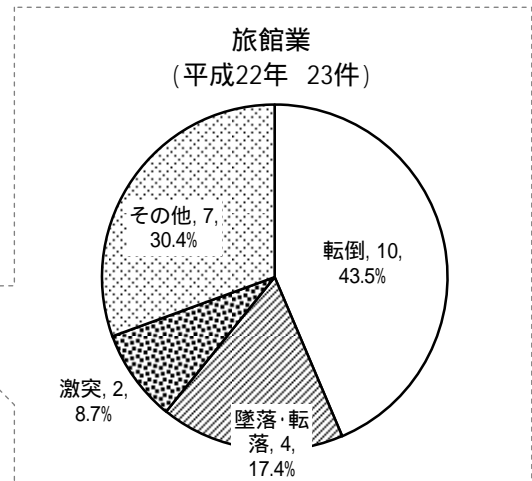
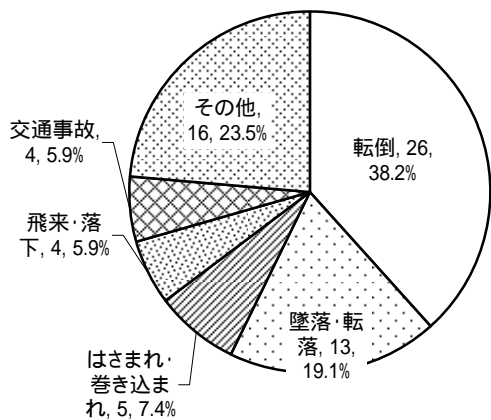
(1) 全産業



(2) 製造業(平成22年 61件)



(3) 商業等(平成22年 68件)

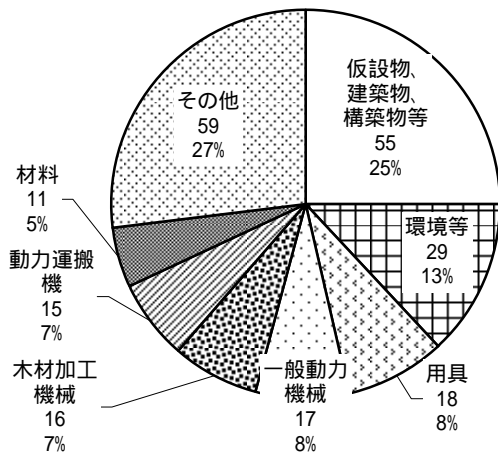


この統計は、労働者死傷病報告により高山労働基準監督署へ報告があった休業4日以上の労働災害を集計したものです。

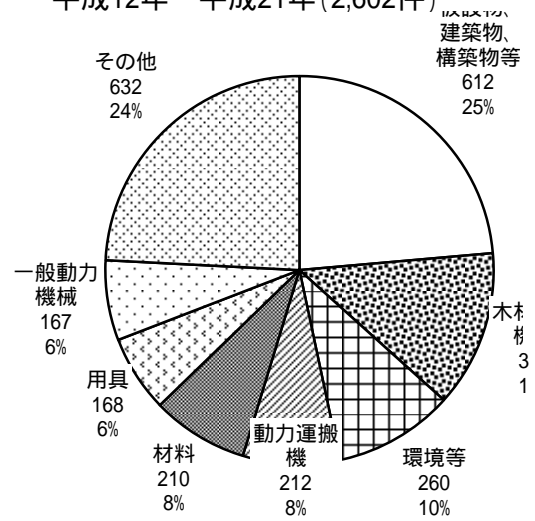
4 起因物別労働災害発生状況

(1) 全産業

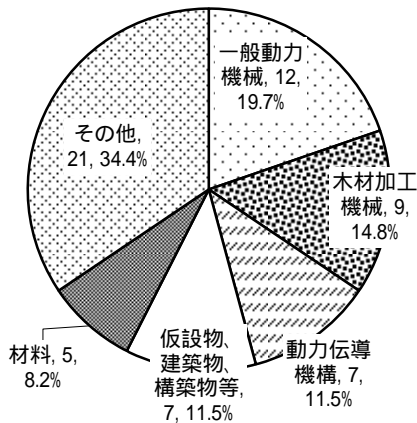
平成22年(220件)



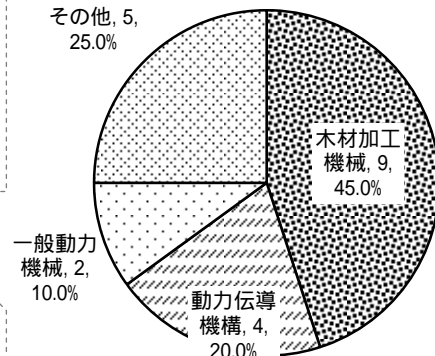
平成12年～平成21年(2,602件)



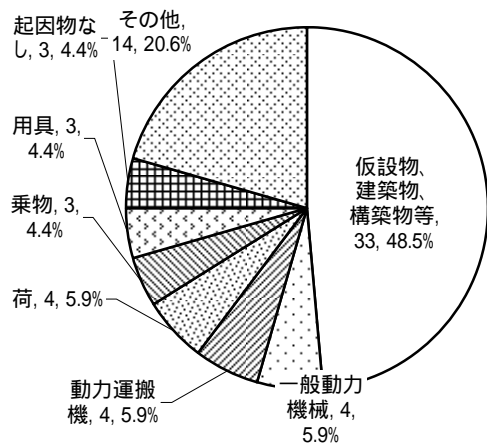
(2) 製造業(平成22年 61件)



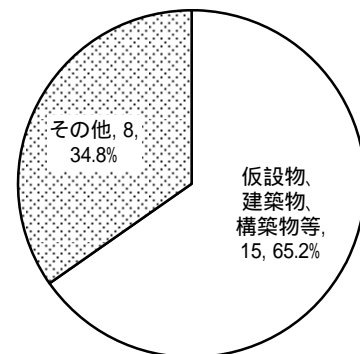
木材・木製品、家具・装備品 (平成22年 20件)



(3) 商業等(平成22年 68件)



旅館業 (平成22年 23件)



この統計は、労働者死傷病報告により高山労働基準監督署へ報告があった休業4日以上の労働災害を集計したものです。

5 死亡災害事例

	発生月	職種	災害の概要	概略図
	業種	年齢		
	事故の型	起因物		
1	4月	作業員	伐出作業現場において、伐出作業中に雑用を行っていた被災者が林道のブロック積の上から5.4m下の沢へ墜落した。	
	農林業	60代		
	墜落・転落	建築物・構築物		
2	5月	作業員	間伐作業現場において、間伐作業を行っていた被災者が、こう配約45度の斜面から林道へ転落した。	
	農林業	70代		
	墜落・転落	地山・岩石		
3	8月	作業員	展示品を回収するため、トラックで高速道路を走行中、トンネル内で側壁に接触、はずみで反対車線を越え反対側の側壁に激突し、運転席側を下にしてトラックが横転した。	
	小売業	20代		
	交通事故	トラック		
4	9月	作業員	倉庫屋上でフォークリフトを用いて整理中、屋根材の鉄板の固定が不十分であったため、フォークリフトで廃材をすくうときにフォークの先が鉄板を押しはずれ、鉄板の上にいる被災者とともに倉庫内に墜落し、鉄板等の下敷きになった。	
	建設業	10代		
	墜落・転落	屋根・はり・もや・けた・合掌		

平成22年に高山労働基準監督署管内の事業場において発生した死亡災害を取りまとめたものです。